

備前市事務事業評価シート

(平成23年度事業)

事業の概要
事業開始年度 昭和62年度
大項目 基本目標 01 安全で快適に暮らせるまちづくり
中項目 基本施策 10 生活しやすいまちづくり
小項目 施策 12 下水道
事務事業名 12 下水道使用料賦課徴収事務
根拠法令・例規等 備前市下水道条例 ほか
問 担当課(室) 下水道課
合 職・氏名 業務係長 岩崎和久
先 電話 66-9701
このシート作成に要した時間 2.0 時間

事業の目的
対象(誰・何に対して) 下水道利用者
目的(何のために) 下水道利用者から下水道使用料を徴収し、汚水処理費、維持管理費等の財源確保を図る
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか) 水道事業者と連携してコスト削減と成果の向上を図る

事業の実績
事業名 事業の説明 優先度
下水道使用料賦課徴収事務 下水道利用者から使用料金の賦課徴収を行う
目的を達成するために実施した事業

事業費等
事業費 単位 平成21年度実績 平成22年度実績 平成23年度実績
直接事業費 13,752 14,587 15,178
必要人員(人) 1,590 1,319 2,144
事業費 15,342 15,906 17,322
決算額
国 県 支出金
受益者負担金
繰入金
市
その他( )
一般財源 15,342 15,906 17,322
受益者負担比率 % - - -

結果指標
調定件数の推移
結果指標量 平成21年度実績 平成22年度実績 平成23年度実績
対前年比 % - 101.0% 101.0%
活動コスト 1,431,000 1,187,100 1,929,600
単位当たりコスト 24 20 32

事業の成果
成果指標名 年度 平成21年度 平成22年度 平成23年度 平成24年度目標値
収納率 目標値(A) 98.0% 98.0% 98.0% 98.0%
実績値(B) 95.2% 94.8% 94.5% 到達目標値
達成率(B/A) 97.14% 96.73% 96.43% 100%
成果指標設定の考え方・式や説明
収納率 / 調定額 \* 100

事務事業の評価
市の関与の妥当性の評価 市の関与の妥当性の評価
コスト段 効率性の評価
有効性の評価
目的達成度 市民参画度
該当する項目を から へ < 「コピー」して「貼り付け」してください >
Check
妥当性評価
A B C D E
高や普や低いや通やいい
C
効率性評価
A B C D E
高や普や低いや通やいい
B
有効性評価
A B C D E
高や普や低いや通やいい
C

進行年度(H24年度)の改革改善内容
状況 拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明 平成20年度において市内全域の料金算定方法の統一と、徴収方法の変更(2か月ごとの検針および徴収)を行いコストの縮減が図られました。平成24年度も現方式を継続します。

総合評価
下水道使用料の徴収は、下水道事業の運営に欠かせない業務であり、徴収事務を水道事業者へ委託することは効率的で有効性にも優れている。今後も水道事業者と連携を密にしてコスト縮減と成果向上を図る。
総合評価
A B C D E
高や普や低いや通やいい
C

平成25年度の方向性・取組目標
方向性 拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
取組目標 水道事業者と連携してコスト縮減と成果向上を図る。

事業の意図する成果とつながらる成果指標を設定
事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその効果指標を評価する際の留意点